

6月定例会

条例関係(主なもの)

可決

- 由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館基金条例の制定
由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館基金を設置するため、条例を制定するもの
- 由利本荘市学童保育施設
由利本荘市川内学童保育施設の使用廃止に伴い条例の一部を改正するもの

- 由利本荘市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
放課後児童支援員の資格要件の見直しに伴い、条例の一部を改正するもの

契約案件(主なもの)

可決

- ◆ 物品(体育備品)購入契約の締結
由利本荘アリーナ用体育備品(バレーボール用支柱・卓球台など38品目)を購入するもの
- ◆ 契約者…かがちゅうスポーツン有限公司
代表取締役 加賀孝司
契約額…3844万8千円

物品(什器備品)購入契約の締結

由利本荘アリーナ用什器備品(テーブル・ロッカー等89品目)を購入するもの
契約者…株式会社スタキ商事
代表取締役 須田晏正
契約額…7981万2千円

物品(小型動力ポンプ付積載車)購入契約の締結

由利地域へ配備するための、小型動力ポンプ付積載車3台を購入するもの
契約者…株式会社タカギ
代表取締役 高橋龍憲
契約額…2608万2千円

人事案件

同意

○副市長
九嶋 敏明 氏(新任)
本荘地域東町



○教育委員会委員
小坂 綾子 氏(新任)
本荘地域中梵天

請願・陳情結果

採択

- ・ 地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願(請願第1号)
連合秋田本荘地域協議会
議長 猪股 修
紹介議員 岡見善人
- ・ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を図るため、2019年度政府予算に係る意見書提出についての陳情(陳情第2号)
秋田県教職員組合
執行委員長 櫻田憂子
秋田県教職員組合本荘由利支部
支部長 三浦春道
- ・ 地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書提出についての陳情(陳情第4号)
秋田弁護士会 会長 赤坂 薫

継続審査

- ・ 臓器移植の環境整備を求める意見書提出についての陳情(陳情第3号)
移植ツーリズムを考える会
理事 井田敏美

意見書

請願・陳情で採択されたものについては、委員会発案として議長名にて各関係機関に送付されています。

意見書送付先 機関	委員会発案	採択
内閣総理大臣・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣	第1号	請願第1号
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣	第2号	陳情第2号
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣府特命担当大臣	第3号	陳情第4号

由利本荘アリーナの見学、使用申請などは

8月上旬に地域ごとに見学会を開催し、広報などで申請方法や使用料金についてお知らせします。

- 問** 総合防災公園内の施設見学会の予定は。
答 8月2日から9日まで地域ごとに施設見学会を予定しているが、この日程以外でも要望があれば、対応可能な範囲で案内したいと考えている。
- 問** 由利本荘アリーナ使用の申請方法、料金など、市民へ周知すべきでは。
答 10月から12月の利用に関する申込みは、9月1日から8日までに公共施設予約システムか、直接施設の受付での申請となるが、使用料金額なども合わせて市広報8月1日号でお知らせする。
- 問** 由利本荘アリーナのネーミングライツ・パートナー契約は。
答 県内にスーパーを展開する「(株) ナイス」と契約締結をした。契約期間は平成30年10月1日から平成35年3月31日まで(4年6ヵ月)、契約金額は年額310万円(総額1395万円)で、名称は「ナイスアリーナ」と決まった。

特定健診の受診状況は

受診率は県・同規模自治体と比較すると依然として低い状況にあります。

- 問** 受診率、特定保健指導実施率の向上への取り組み方は。
答 40～49歳の受診率が低い。特定健診は体の異常の早期発見につながり、保健指導や重症化予防、医療機関への受診勧奨などへと波及する。未受診者への受診機会の十分な確保、毎年受診する必要性の周知に取り組む。

5・18大雨被害!

5月18日からの大雨により、本市に甚大な被害が発生しました。

- 問** 5月の大雨による本市の災害状況は。
答 5月18日からの豪雨による本市の被害状況については、河川59カ所、道路116カ所の合計175カ所であり、これらの復旧予算は2億9520万円4千円である。また、農地については、水田250ha余りが冠水した。



道路の被災状況



大雨による水田の冠水

第2回臨時会(5月10日)

第2回臨時会に提出された案件は条例改正専決処分報告3件、補正予算専決処分報告9件、補正予算2件、契約案件2件、その他1件の計17件で、いずれも原案のとおり可決しました。

- **【条例改正専決処分報告】** 主なもの
都市計画税条例の一部を改正する条例
- **【補正予算専決処分報告】** 主なもの
地域雇用創出推進基金費 4億円
公共施設等維持補修基金費 3億円
- **【補正予算】** 主なもの
鳥海山等観光振興事業 850万円
B&G西目海洋センター
プール棟改修工事 5000万円
- **【契約案件】** 主なもの
市道猿倉花立線災害防除工事請負契約の締結
契約者…山科建設(株)・矢島建設(株)
特定建設工事共同企業体
代表者 山科建設(株)
代表取締役 山科 優
契約額…2億8620万円



問 当分、市としては新山野墓園の全分譲を目標としており、その後「合葬墓を含めた墓のあり方」について市民の意見を把握しながら総合的に検討している。

答 複数の人の遺骨を同じ区画に埋葬する合葬墓という新たな墓地の形態が注目されている。

問 秋田市は血縁や結婚により、ない多くの遺骨を埋葬する合葬墓を今春完成させた。2回の募集で1500体分、希望者でいっぱいになった。

「合葬墓」の住民意向調査を



佐々木隆一 (日本共産党)



ワイヤーロープ防護柵

問 日東道でも早急に安全対策を進めていくよう国に働きかけていく。

答 片側1車線の道路では重大な事故が発生している。国では暫定2車線区間の1500メートルを概ね5カ年でワイヤーロープを設置していくとの発表があった。

問 4月4日、市内芦川の日東道から若い男女3人が乗った車が落下し大破するという痛ましい事故が発生した。

答 事故はポールで仕切られた片側1車線で起きた。ワイヤー式防護柵の工事が進められている。安全対策のためワイヤー式防護柵の設置を関係機関に要請すべきである。

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。6月定例会では、8人の議員が質問に立ちました。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

6P 高橋信雄 (高志会)

- ① 市民とのふれあいトークについて
- ② 植村伴次郎氏とのつながりを生かした活用及び功績を残せないか
- 3. がん患者への支援について
- ④ 農業問題について
- 5. 外国人旅行者の誘客について
- 6. 教育委員会関係

8P 高野吉孝 (市民創風)

- ① 人口減少の現状分析と対策は
- 2. 移住を含めた転入者の増大について
- 3. 市営住宅の方向性について
- 4. 地域づくり推進事業について
- ⑤ 石脇新町から由利本荘アリーナへのアクセスについて
- 6. 全国学力トップクラスと視察受け入れについて
- ⑦ 学校環境適正化に向けた取り組みについて

9P 佐藤義之 (高志会)

- 1. 風力発電事業について
- ② 住みよいまちづくり対策について
- 3. 災害情報などCATVでの情報発信はできないか
- ④ 本市の学校におけるICT化の推進について

9P 伊藤岩夫 (公明党)

- 1. 福祉支援について
- ② 市の活性化について
- ③ 引きこもり者の社会復帰支援を
- 4. 特定健診のコールリコールによる健康寿命の延伸について
- 5. 学校での心肺蘇生教育の普及推進及び危機管理体制の整備について

8P 湊 貴信 (高志会)

- ① 移住政策と関係人口について
- ② 地方創生(総合戦略)について
- ③ 公営墓地について
- 4. カダレ内の物産館「ゆりぶらざ」について
- 5. 第三セクターについて
- ⑥ プログラミング教育について

7P 佐々木隆一 (日本共産党)

- 1. 農業振興について
- 2. 国保会計について
- ③ 日本海東北自動車道の安全対策について
- ④ 合葬墓の住民意向調査を

7P 阿部十全 (無所属)

- ① 高齢化対策について
- ② 公共施設について
- ③ 由利本荘市沖洋上風力発電建設について

10P 今野英元 (社会民主党)

- ① 由利本荘市の風力発電事業について
- ② 株式会社はいんすば新山について



高橋信雄 (高志会)

満足度の高い

行政サービスとは

問 市民とのふれあいトークなどで「満足度の高い行政サービス」と使っているが、どのように計りどのように市政に活かしているのか。

答 新創造ビジョン策定の際「地域環境に対する満足度」を調査。新創造ビジョン後5カ年計画策定に向け、前期計画の達成度や満足度を計る市民アンケートを実施し、計画に反映したい。

植村伴次郎氏の功績を

残せないか

問 本市名誉市民の植村伴次郎氏のこれまでの功績やふるさとへの貢献を形に残し、東北新社の助言を頂きながら広報やCATVの充実と活用を検討できないか。

答 寄贈いただいた映像資料は著作権の関係からCATV



阿部十全 (無所属)

移住・移転も含めた今後の高齢化対策は

問 高齢化に伴い農作業が出来ない農家が増え、農地の放棄が急激に増えると農家の方がかつていた。

答 集落人口が減って、隣近所の小さな助け合い、除雪や買い物の手伝い、話し相手すらいなくなっていく。集落の移住や移転も含め高齢化対策は。

問 全ての高齢者に移住や移転を勧めることは難しいと考えているが、高齢者を支える仕組みとして地域包括支援センターによる介護予防・日常生活総合支援事業などや共助組織の設置数の増加を図っていく。

公共施設の

維持管理の見通しは

問 公共施設維持管理では開設当時に比べ利用頻度が極端に低くなった施設や建物、老朽化の著しいものなどがある。問もなくオープンする公共施設

Vでの放送は難しいが、放送可能な作品も一部あり活用を検討したい。中央図書館、由利図書館に「植村伴次郎コーナー」を設置し市民に紹介していく。



由利図書館の植村伴次郎コーナー

米新品種の適性と

特A対策

問 2年後デビュー予定の秋田県極良食味米は本市市場に向けた適性か。特A獲得に向けた対策は進んでいるか。

答 新品種のこの地域への適性などは非公開とされている。特A取得の取り組みは、JAGが実証圃を設置し県などの指導の下、品質向上への取り組みを継続しており、特A取得を目指し連携していく。

設アリーナの利用が増える一方で、古い施設ほどコストもかかると思えるが、公共施設維持管理の今後の見通しは。

答 公共施設は現在2110棟あり、平成48年度まで25%削減する計画となっている。効率的な施設維持に努め絶えず見直しを行う。

沿岸地域の住民に対する

洋上風力発電事業の説明は

問 洋上風力発電計画があるが、海沿いを走る国道7号の周辺には人家はもちろん、学校、保育所、病院、診療所などがあり、騒音による健康被害の心配がある。

答 建設予定の風車のイメージだが、子吉川ポートプラザアクアパルから海方向を見ると2キロの距離に約100メートルの高さの風車が見える。洋上に計画されているのはその高さの倍の200メートルに及び、それが140基立つ計画であるが、市の方針を伺う。

問 国道7号線から海側の町内で、世帯数4970戸、人口1万2491人である。同地域においては、今後も住民説明会やアセスメントの確実な実施を事業者に求めていく。